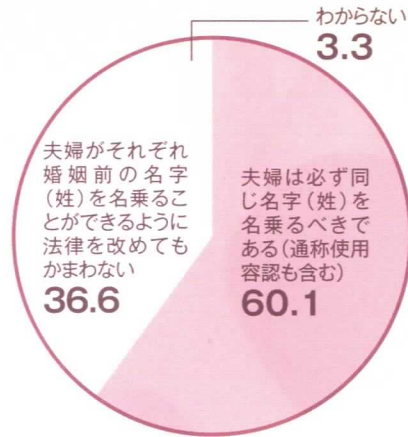


## 夫婦別姓に対する賛否

国民は夫婦別姓を望んでいるのでしょうか？

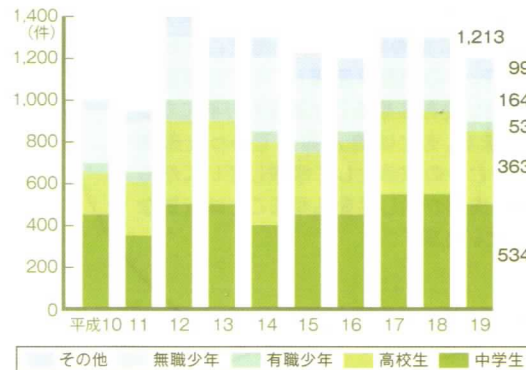
右の円グラフを見ても分かるように、国民の約6割は夫婦は同じ姓を名乗るべきと考えています(平成18年内閣府「家族の法制に関する世論調査」より)。もちろん、働く女性が、結婚後に姓が変わることで不利益を被らないための対策は大切で、例えば、平成13年国家公務員は本人からの申し出があった場合、職場での旧姓使用が認められるようになりました。それは、民間でも徐々に取り入れられ、着実に普及してきています。このような現状で、敢えて法改正してまで国民が望まない夫婦別姓を定める必要はどこにもありません。



## 大切なのは家族の絆

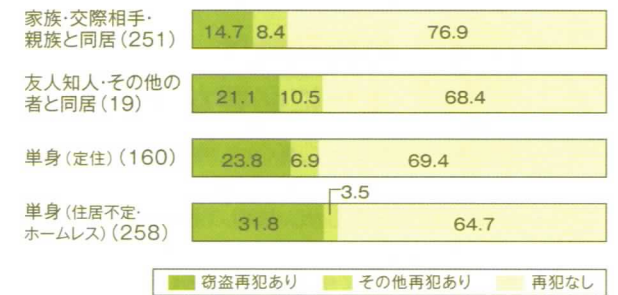
近年の「犯罪白書」によると、家庭内暴力の件数は依然として高く、なかでも中高生の割合が多いことが分かります。家庭生活の破綻や子供の非行などのリスクを抑えるためには、親子がきちんと向き合い家族のつながりが底流に確保されることが大切であるといわれます(法務省矯正局編『家族のきずなを考える』)。また、別の調査によると、窃盗罪で執行猶予になった人は、家族と同居している人のほうが単身者より再犯率が低いことも分かっています。やはり、本当に必要なことは、家族の絆を大切にすることではないでしょうか？

【家庭内暴力に係る少年の就学・就労別認知件数】



(平成20年版「犯罪白書」より)

【窃盗 再犯状況(居住状況別)】



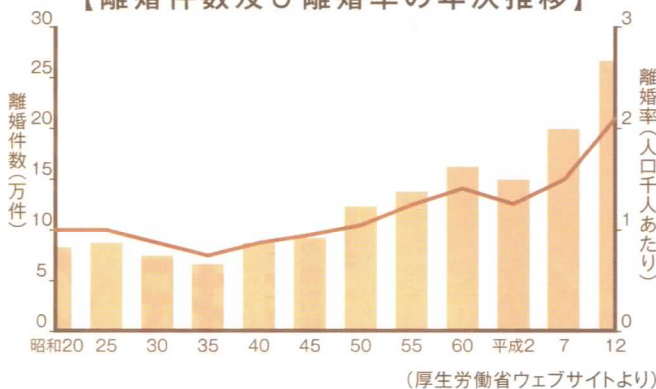
※ ( )内は実人員

(平成21年版「犯罪白書」より)

## 憂慮される離婚・家族の崩壊

夫婦の姓が違くと、正式に結婚した夫婦なのか、ただ同棲をしている事実婚なのか見分けがつかず、離婚しやすくなりませんか？近年、女性の離婚に対する考え方は、肯定する人の割合が否定する人の割合を大きく上回っています(平成17年版「国民生活白書」より)。すると年々増加している離婚率にさらに拍車をかけることにもなりかねません。では、別姓の夫婦との間に生まれた子供の姓はどうでしょうか？「姓が違って我が子への愛情は変わらない」と断言できますか？過去の調査によると、中高生の子供たちの7割近くが、両親が別の姓を名乗ることに嫌悪感や違和感を感じるという結果も出ています。また独りっ子の場合、我が子の姓を巡って親や家同士で争いが起こらないとも限りません。夫婦別姓によって、もっとも辛い思いをするのは子供たちです。

【離婚件数及び離婚率の年次推移】



(厚生労働省ウェブサイトより)

もしもあなたのお父さんとお母さんの名字が別々になったら、あなたはどのように思いますか。

- いやだと思う 426人(41.6%)
- へんな感じがすると思う 254人(24.8%)
- なにも感じないと思う 268人(26.2%)
- うれしいと思う 23人(2.2%)
- わからない 52人(5.1%)

(平成13年 心の教育女性フォーラム調べ)

どういったときに家族としての絆を感じるのでしょうか？

ある調査によると、家族の心が通い合う時間・家族団らんの時間ともに「夕ご飯」が第1位でした。

家族の心が通い合う時間

1位「夕ごはん」(76.0%) 2位「家族旅行」(52.7%)

家族団らんと聞いて思い浮かぶ時間

1位「夕ごはん」(65.7%) 2位「夕食後寝るまでの時間」(63.3%)

(平成21年 M1・F1総研調べ)

しかし、それを実践できる家庭はわずか35.5%に過ぎないという結果も出ています。今大切なことは、家族の心が通い合う時間を大切に家族の絆を強められる社会にすることではないですか？そのような時に、敢えて家族の一体感を損なう恐れのある選択的夫婦別姓を推進することはいかなるものでしょうか？

## 家族崩壊の先に待つもの

共産主義者のエンゲルスは、著書『家族・私有財産・国家の起源』において、家族制度は私有財産制の社会にのみ存在するものであり、共産主義の達成とともに廃止されると述べています。選択的夫婦別姓を頑なに主張するグループの最終的な目的は、個人主義の徹底により、個人の自由を束縛する家族制度を崩壊させ、まさにエンゲルスが志向する社会を作り上げることだといっても過言ではありません。選択的夫婦別姓以外に永住外国人への地方参政権付与の問題なども、日本の国籍など関係なく、個人主義を徹底して国民や国家という概念をなくしてしまおうとする、共産主義的思想に基づくものといえるでしょう。

## 私たちに突きつけられた現実の問題

いま、「公」よりも「個」が尊重され、個人主義の世の中になりつつあります。何をやっても個人の自由といった行き過ぎた個人主義は、これまで私たちが培ってきた日々の暮らしに様々な悪影響を及ぼします。ただでさえ家族が疎遠になっている現状に加えて、夫婦が別々の姓を名乗るようになったら、5年後、10年後の私たちの生活、家族の姿はどうなるのでしょうか？それは、他に話題となっている永住外国人への地方参政権付与や人権救済施設の設置など、個人の権利のみを保護する一連の政策にも言えることで、我が国の家族やライフスタイルのみならず、日本の社会全体を大きく変えてしまうものです。